

1. 「開かれた総合水試」いきいき情報発信事業

企画開発推進室

コンピュータシステムを活用して、水温情報、漁獲情報、魚病情報など、水産研究にとって有用な各種情報を収集するとともに、「開かれた水産試験場」をモットーに、蓄積された情報や試験研究成果等の発信に努めた。

また、専門的な研究情報の提供と、漁業現場等のニーズの把握を目的に、移動総合水産試験場（出前水試）を開催した。

I. 試験研究情報の収集

1. 魚病情報データベース

県下各地の魚病発生情報を収集し、データベースに171件を新たに登録した。

魚病データベース登録件数 累計4,891件

2. 海況データベース

県下各海域の海況情報を収集し、データベースに10,800件を新たに登録した。

海況データベース登録件数 累計358,211件

II. 試験研究情報の発信

1. インターネットによる情報発信

開設しているホームページ上で、以下の情報を提供した。

主な内容

○総合水産試験場の施設の紹介

○漁海況情報

○水温情報

○最新の試験研究話題

○マリンラボニュース

○トピックス 等

平成28年度のアクセス件数 計 25,818件

2. FAX情報サービス

FAXによる情報サービスを行い、以下の情報の

発信を行った。

○漁海況情報

○赤潮情報

情報発信件数

計 7,239件

3. 情報誌の発行

平成29年3月に「平成28年度の主な成果」を発行し、漁協等関係機関へ配付した。

III. 移動総合水産試験場の開催

漁業者等への研究成果の提供と、試験研究への現場ニーズの反映を目的に移動総合水産試験場（出前水試）を開催している。平成28年度は、より専門的に細かく現場のニーズを把握するため、地区や部会等の要望に応じて開催することとして、次のとおり県内4地区で8回を開催した。

○平戸市生月町

平成28年5月12日 60名

○佐世保市小佐々町

平成28年7月8日 35名

○松浦市鷹島町

平成28年7月15日 14名

○佐世保市相浦町

平成28年7月22日 14名

○佐世保市塩浜町

平成29年1月28日 22名

○対馬市巖原町

平成29年2月17日 33名

○新上五島漁生浦

平成29年2月24日 17名

○五島市福江町

平成29年3月2日 23名

参加者合計 218名

なお、各会場とも水試の試験研究に対する多くの意見、要望等が寄せられ、非常に有意義な催しとなった。



「出前水試」の様子
(平成29年2月17日 対馬市厳原町にて)

三機関では、研究機関の地域貢献を目的に、施設の一般公開や各種体験型イベントを実施するとともに、サイエンスカフェを開催した。

当日の参加者は約1,000名で、三機関の試験研究活動や水産業・海洋への興味と理解を深めて頂いた。



第14回水産科学フェア
(海藻押し花しおりづくり体験)の様子

IV. その他

1. ながさき水産科学フェアの開催

平成28年10月23日に、新長崎漁港地区の国際海洋総合研究ゾーンにおいて、同地区に設置されている国立研究開発法人 水産研究・教育機構西海区水産研究所、国立大学法人 長崎大学海洋未来イノベーション機構環東シナ海環境資源研究センターと共催で「第14回ながさき水産科学フェア」を開催した。

2. 広報活動

試験研究で得られた成果を、漁業者をはじめ県民に広く伝達し、その普及を図ることを目的に、記者室投げ込み、取材対応等の広報活動を行った。

平成28年度広報活動件数 28件
(担当: 松村・水田)